

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名:金沢市 都市整備局

土木部 道路建設課

事業の名称:金沢都市計画道路事業
3・4・10号 疋田上荒屋線(北安江高架橋)

実施都市名:石川県金沢市

事業目的

都市計画道路 疋田上荒屋線は、都心内交通網の骨格を成す内環状道路の一部を形成する幹線道路であります。北陸鉄道浅野川線との平面交差による踏切がボトルネックとなり、慢性的な交通渋滞が発生していました。

本事業はオーバース形式で鉄道と立体交差する道路を築造するもので、北安江高架橋の完成により、円滑で安全な交通が確保され、交通渋滞の緩和が図られます。

事業概要

事業名称:金沢都市計画道路 3・4・10号

疋田上荒屋線(北安江高架橋)

路線名:疋田上荒屋線

事業箇所:北安江2丁目、七ツ屋町地内

事業延長:244m

幅員:15.0～37.2m

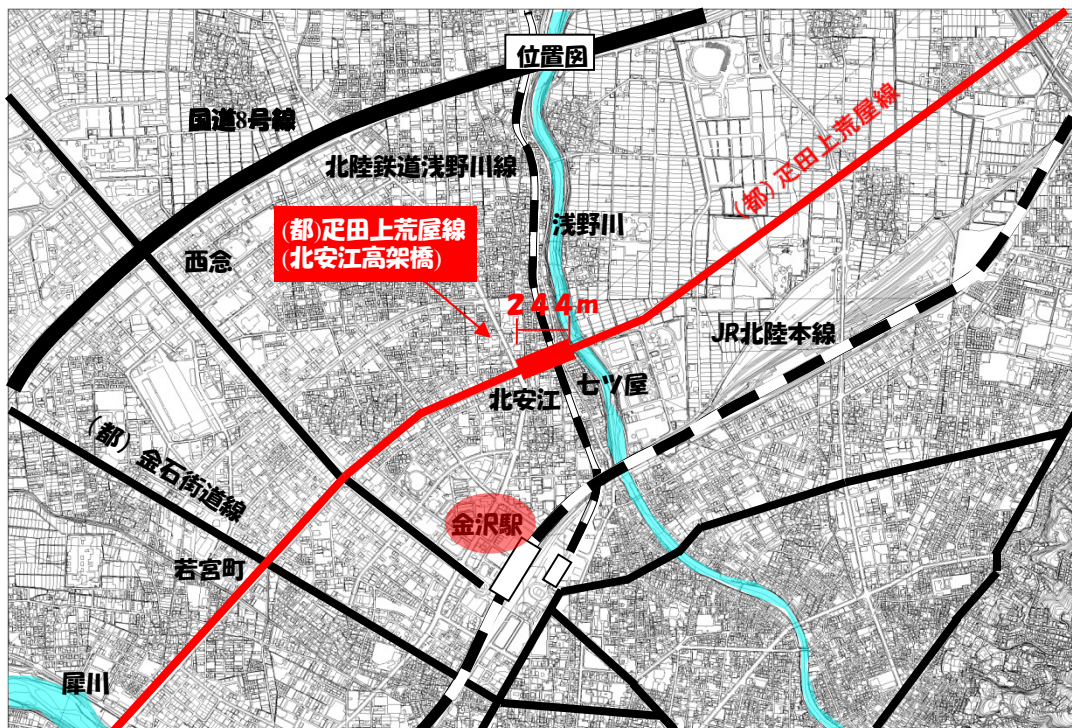
事業費:約17.4億円

事業実施期間:平成15年度～平成22年度

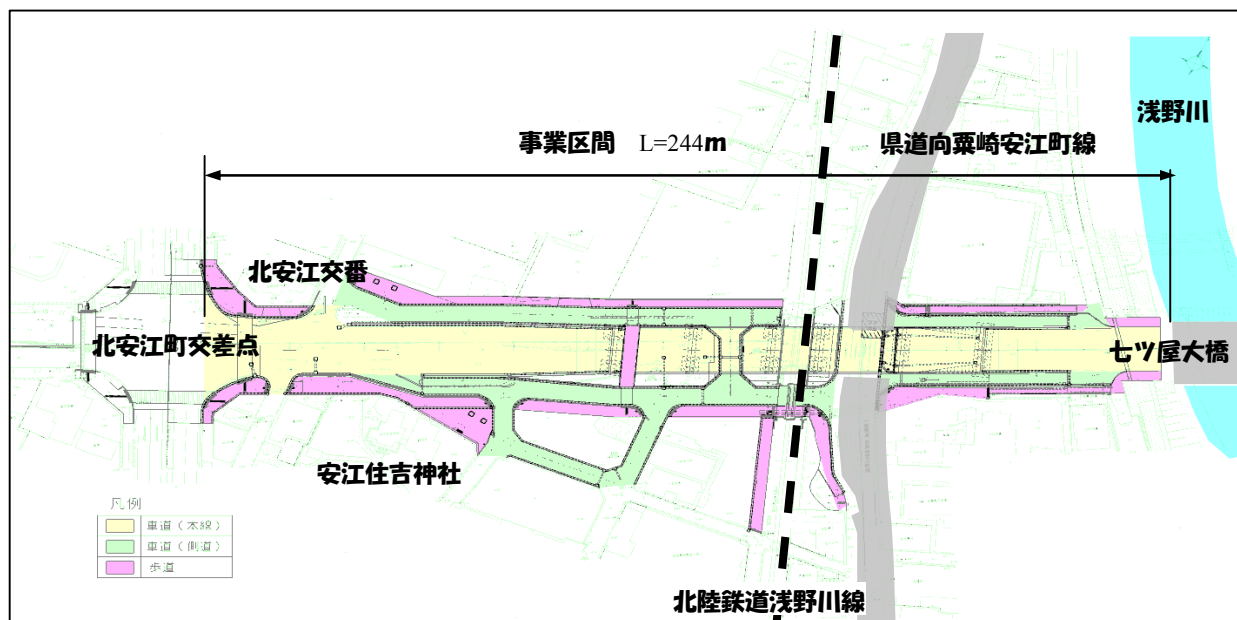
北陸鉄道浅野川線との立体交差化により、交通渋滞が大幅に緩和され、金沢都心部へのアクセスが向上しました。

また、擁壁面の圧迫感を軽減するデザイン処理を施したり、附属物を背景色（空色）と調和した、比較的明るい色調を採用するなど、まちなみ景観と調和した整備を行いました。

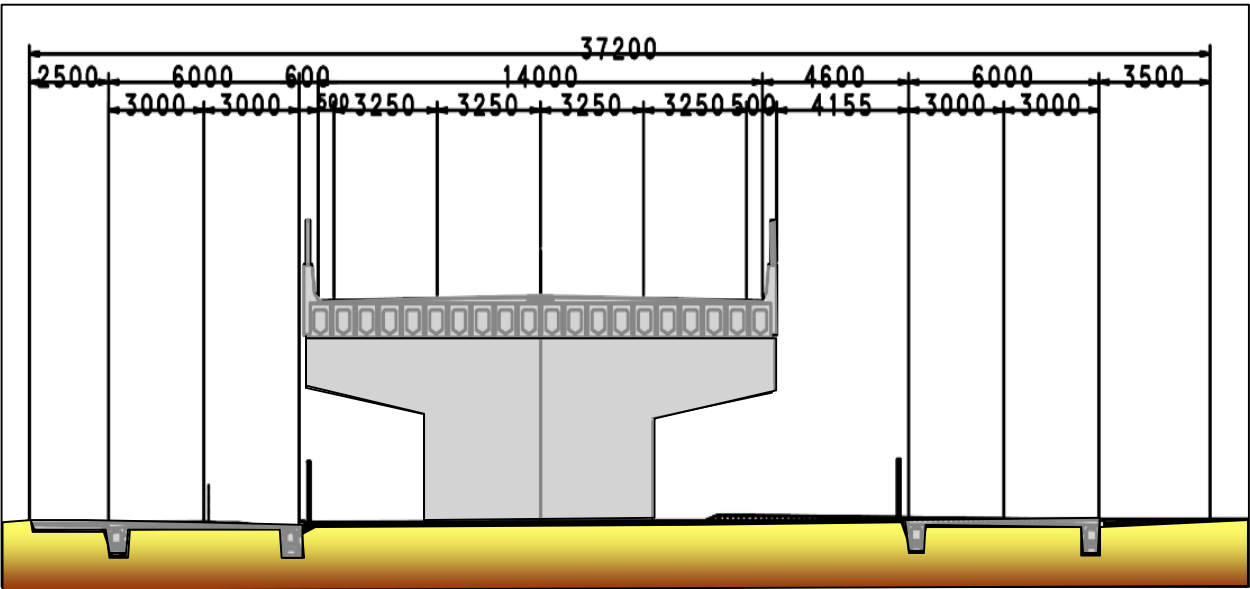
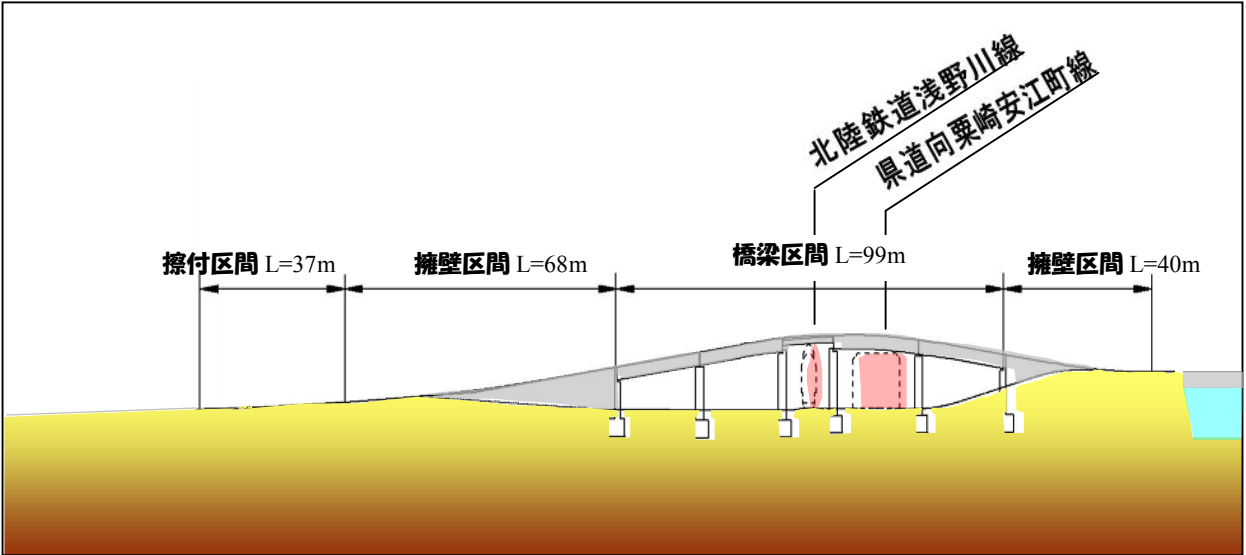
事業位置図



全体図(平面図)



全体図(側面図・横断図)



足田上荒屋線(北安江高架橋)の整備効果アピール資料

○交通量調査結果

供用前 平成20年2月実測

供用後 平成23年9月実測

・交通量の推移

11740台/12h→16959台/12h

⇒ 踏切に伴う渋滞が解消し、利便性が向上し
往来が活性化した。



「整備効果」

○渋滞の緩和

・ 足田上荒屋線 北安江町交差点

高柳町 → 金沢市街地 渋滞長 325m → 195m 【130m減少】
(朝7:00～8:00)

・ 向栗崎安江町線 北安江東交差点

金沢市街地 → 内灘町 渋滞長 430m → 140m 【290m減少】
(朝7:00～8:00)

○走行時間の短縮

・ 高柳交差点 ～ 北安江町交差点間(1.5km) 6.78分 → 3.89分 【約3分短縮】

○景観に配慮した整備

- ・ 側道や歩道からの近景視点に配慮し、長大な擁壁面の圧迫感を軽減するデザイン処理を施した。
- ・ 附属物(遮音壁、照明灯、防護柵)について、背景色(空)と調和した比較的明るい色調(10Y6.5/1)を採用し、同色とすることで施設としての統一感に配慮した。

いずれも、市の景観政策課と協議し、まちなみ景観と調和し、シンプルで洗練されたデザインを採用した。



事業前写真



事業後写真

